



平成27年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月14日

上場会社名 タマホーム株式会社 上場取引所 東・福
 コード番号 1419 URL <http://www.tamahome.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 玉木 康裕
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 牛島 毅 (TEL) 03-6408-1200
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年5月期第1四半期の連結業績(平成26年6月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第1四半期	28,129	△3.7	△1,825	—	△1,865	—	△1,421	—
26年5月期第1四半期	29,210	10.6	△1,830	—	△1,849	—	△1,277	—

(注) 包括利益 27年5月期第1四半期 △1,462百万円(—%) 26年5月期第1四半期 △1,263百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第1四半期	△47.29	—
26年5月期第1四半期	△42.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年5月期第1四半期	80,662	13,244	16.1
26年5月期	86,408	15,460	17.6

(参考) 自己資本 27年5月期第1四半期 13,005百万円 26年5月期 15,247百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	0.00	—	26.00	26.00
27年5月期	—	—	—	—	—
27年5月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	164,900	△2.7	4,600	0.4	4,300	△4.7	1,600	△6.8	53.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年5月期1Q	30,055,800株	26年5月期	30,055,800株
② 期末自己株式数	27年5月期1Q	—株	26年5月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年5月期1Q	30,055,800株	26年5月期1Q	30,055,800株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在における入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後経済情勢・競合状況・為替・金利の変動等にかかわるリスクや不安定要素により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる事項については、[添付資料]3ページ[連結業績予想などの将来予測情報に関する説明]をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間.....	P. 7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間.....	P. 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
4. 補足情報	P. 10
(1) 受注及び販売の状況(連結)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、4月からの消費税率改定に伴う駆け込み需要の反動減が見られますが、政府による経済・財政政策に刺激された企業収益が改善を続けるなかで、雇用・所得環境も着実に改善するなど、緩やかな回復基調が続いています。しかし一方で、新興国の成長鈍化や政情不安、不安定な経済情勢等により先行きは依然として不透明な状況にありました。

当社グループの属する住宅業界におきましては、4月の消費税率改定に伴う駆け込み需要の反動による落ち込みが顕著に現れ、受注が低調に推移しております。

このような状況のなか当社グループにおきましては、「より良いものをより安く 提供することにより 社会に奉仕する」という経営方針に基づき、販売価格の見直しを行い、そして、より地域に根ざした事業展開を図るべく、販売網の拡充を行うとともに住宅事業に関連する事業の取り組みを強化してまいりました。

各事業の概略は以下のとおりです。

(住宅事業)

住宅事業においては、新しく9ヶ所の出店を行い、モデルハウスのリニューアルについては13ヶ所において実施いたしました。前期に引き続き、大都市圏および空白エリアでのシェア拡大という方針に基づき、販売網の整備と鮮度の維持を行ってまいりました。また、8月からは10kW以上の太陽光発電システムを搭載した戸建住宅「大容量ソーラーハウス 楽楽の家(らくらくのいえ)」の販売を開始しました。しかし、4月からの消費税率改定に伴う駆け込み需要の反動減や職人不足、天候不順による住宅展示場での集客減少などの影響を受けました。

以上の結果、当事業の売上高は26,062百万円(前年同期比3.3%減)、営業損失は1,621百万円(前年同期は1,856百万円の営業損失)となりました。

(不動産事業)

不動産事業においては、大型分譲プロジェクトである大阪府茨木市の「タマスマートタウン茨木(全588区画)」の販売が引き続き好調に推移しましたが、前期に比べ引渡棟数が減少しました。また、宮崎県の中規模物件の引渡棟数も前期に比べ減少しました。

マンション事業においては、当社における過去最大の開発規模を持つ横浜市都筑区の「フォーチュンスクエア都筑中山(全157戸)」の販売が好調に推移し、今後も新たなマンションの販売を計画しております。

以上の結果、当事業の売上高は861百万円(前年同期比24.9%減)、営業損失は9百万円(前年同期は53百万円の営業利益)となりました。

(金融事業)

金融事業においては、住宅事業における引渡棟数は減少しましたが、火災保険の付保率向上により契約件数が増加し、契約単価も上昇しました。また、6月に住宅ローン「フラット」の業務提携先を見直したことにより、手数料単価が上昇しました。

以上の結果、売上高は243百万円(前年同期比18.3%増)、営業利益は105百万円(同50.4%増)となりました。

(その他事業)

その他の事業においては、住宅事業における引渡棟数の減少により従前の住宅周辺事業も低調に推移しました。

以上の結果、当事業の売上高962百万円(前年同期比5.7%増)、営業損失303百万円(前年同期は95百万円の営業損失)となりました。

以上の結果、当社グループの連結経営成績は、売上高28,129百万円(前年同期比3.7%減)となりました。利益につきましては営業損失1,825百万円(前年同期は1,830百万円の営業損失)、経常損失1,865百万円(前年同期は1,849百万円の経常損失)、四半期純損失1,421百万円(前年同期は1,277百万円の四半期純損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループでは、通常、住宅事業の売上高が第4四半期に偏る傾向にあることから、相対的に第1四半期の売上高が低くなり、また第1四半期末の受注残高が前連結会計年度末より増加する傾向があります。当第1四半期におきましても、この傾向を受け、前連結会計年度末から資産・負債の主な増減は次のとおりです。

資産は、未成工事支出金が2,444百万円増加したものの、現金及び預金が9,435百万円減少したこと等により、総資産は5,745百万円減少し、80,662百万円となりました。

また負債は、短期借入金が3,655百万円増加する一方、支払手形・工事未払金等が7,773百万円減少した結果、負債合計では、3,528百万円減少し、67,418百万円となりました。

純資産は、第1四半期純損失1,421百万円の計上及び配当金の支払781百万円等により2,216百万円減少し、13,244百万円となりました。この結果、自己資本比率は16.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における平成27年5月期の連結業績予想につきましては、前回発表（平成26年7月15日）の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,475	20,039
受取手形・完成工事未収入金等	2,246	640
営業貸付金	2,317	2,352
有価証券	2,499	—
販売用不動産	1,817	2,749
未成工事支出金	8,522	10,967
仕掛販売用不動産	8,852	9,591
その他のたな卸資産	363	344
繰延税金資産	907	1,475
その他	3,169	4,116
貸倒引当金	△9	△9
流動資産合計	60,163	52,267
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,999	12,279
土地	6,983	6,983
その他(純額)	2,809	4,633
有形固定資産合計	21,792	23,895
無形固定資産		
投資その他の資産	581	574
投資その他の資産	4,156	4,336
貸倒引当金	△285	△410
投資その他の資産合計	3,871	3,925
固定資産合計	26,245	28,395
資産合計	86,408	80,662

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	27,643	19,870
1年内償還予定の社債	400	400
短期借入金	2,089	5,745
1年内返済予定の長期借入金	2,708	2,826
未払法人税等	2,252	72
未成工事受入金	18,017	20,507
完成工事補償引当金	898	919
工事損失引当金	154	44
賞与引当金	—	386
その他	6,559	4,786
流動負債合計	60,723	55,559
固定負債		
社債	700	700
長期借入金	7,482	9,097
資産除去債務	1,005	1,051
繰延税金負債	21	33
その他	1,014	977
固定負債合計	10,223	11,859
負債合計	70,947	67,418
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,310	4,310
資本剰余金	4,327	4,327
利益剰余金	6,466	4,263
株主資本合計	15,103	12,901
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11	△2
繰延ヘッジ損益	△2	1
為替換算調整勘定	135	105
その他の包括利益累計額合計	143	103
少数株主持分	212	238
純資産合計	15,460	13,244
負債純資産合計	86,408	80,662

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)
売上高	29,210	28,129
売上原価	22,151	21,351
売上総利益	7,058	6,778
販売費及び一般管理費	8,888	8,603
営業損失(△)	△1,830	△1,825
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	2	0
違約金収入	15	15
その他	29	84
営業外収益合計	51	104
営業外費用		
支払利息	23	52
アレンジメントフィー	—	48
その他	45	43
営業外費用合計	69	144
経常損失(△)	△1,849	△1,865
特別損失		
固定資産除却損	7	57
リース解約損	—	3
特別損失合計	7	60
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,856	△1,925
法人税、住民税及び事業税	61	55
法人税等調整額	△636	△559
法人税等合計	△575	△503
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,281	△1,421
少数株主損失(△)	△4	△0
四半期純損失(△)	△1,277	△1,421

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,281	△1,421
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29	△14
繰延ヘッジ損益	△3	3
為替換算調整勘定	△6	△29
その他の包括利益合計	18	△40
四半期包括利益	△1,263	△1,462
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,261	△1,461
少数株主に係る四半期包括利益	△1	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況(連結)

①受注

受注		平成26年5月期第1四半期		平成27年5月期第1四半期		増減	
セグメント	内容	棟数	金額	棟数	金額	棟数	金額
住宅事業	注文住宅	3,208	53,080	1,649	29,600	△1,559	△23,480
	賃貸住宅	8	158	2	55	△6	△103
	リフォーム	—	1,419	—	75	—	△1,344
その他事業	その他請負	—	730	—	111	—	△618
合計		3,216	55,389	1,651	29,842	△1,565	△25,546

※解約控除前の数値を記載しております。

②販売

売上		平成26年5月期第1四半期		平成27年5月期第1四半期		増減	
セグメント	内容	棟数	金額	棟数	金額	棟数	金額
住宅事業	注文住宅	1,512	25,544	1,455	25,599	△57	54
	賃貸住宅	9	271	2	74	△7	△197
	リフォーム	—	931	—	206	—	△724
	その他売上	—	239	—	228	—	△10
	計	1,521	26,987	1,457	26,109	△64	△877
不動産事業	戸建分譲	21	875	14	481	△7	△393
	マンション	—	0	—	24	—	24
	サブリース	—	270	—	354	—	84
	その他売上	—	0	—	0	—	0
	計	21	1,146	14	861	△7	△285
金融事業		—	205	—	243	—	37
その他事業		—	2,628	—	2,733	—	105
調整		—	△1,757	—	△1,817	—	△60
合計		1,542	29,210	1,471	28,129	△71	△1,080